

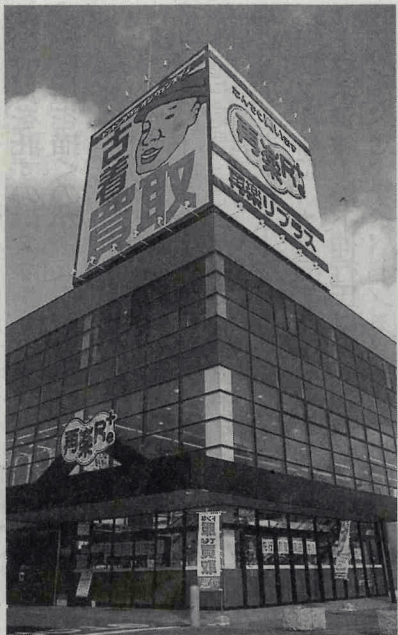
総合リサイクル店出店

高松レインボー店跡地に

ヤマダ電機

ヤマダ電機は、高松市伏石町の旧高松レインボー店跡地に、グループ会社が運営する家電中心のリサイクル店「再築リプラス高松本店」を14日オープンする。店舗内には、古着店「ドンダウン・オン・ウエンスデイ高松店」も併設。家電から古着まで幅広い商品を買取り、販売する総合ショップとして、ニーズの高まるリサイクル需要に応える。同店の四国進出は初めて。

14日オープン



14日にオープンする再築リプラス高松本店（高松市伏石町）

二つの店舗を運営するの馬県。関東を中心に家電は、シー・アイ・シー（群）や家具、宝飾品などを扱

「再築リプラス」7店舗を運営。古着大手の「ドンダウン」のフランチャイズ店6店舗も展開する。

再築リプラスで扱う冷蔵庫やテレビなどは買取り後、専用施設で分解、洗浄し、6カ月間の品質保証を付けて販売。ドンダウンは毎週水曜日に価格が下がる独自の料金設定システムを採用する。

両店が入居する建物は、旧高松レインボー店が昨年11月、近くの天満屋ハピータウン跡地へ移転したことで空き店舗となっていた。1階が駐車スペース、2、3階が店舗で、売り場面積は1650平方メートル。再築リプラスが2、3階の計1320平方メートルを使用、ドンダウンは2階の330平方メートルで営業する。

シー・アイ・シーは「リサイクル家電の需要は家電リサイクル法施行後、高まっており、当社も店舗網を拡大している。四国でも、これまでに培ったノウハウと価格競争力を武器に売り上げを伸ばしたい」としている。